

# メタバースの原則(1次案)

2024年3月8日

安心・安全なメタバースの実現に関する研究会

### (民主的価値を踏まえたメタバースの将来像の醸成)

- 将来、メタバース上では国境を越えて様々な仮想空間であるワールドが提供され、メタバースが物理空間と同様に国民の生活空間や社会活動の場として益々発展し、人々のポテンシャルをより一層拡張することが期待される一方、メタバースの設計や運営が過剰に商業主義的な動機で支配され、民主的価値を損なうような仮想空間が出現する可能性、さらには、物理空間と仮想空間がこれまで以上に融合した結果として、メタバース上での出来事や価値観が仮想空間のみならず物理空間にも影響を与え、両空間の民主的価値を損なう可能性も想定される。このような状況を防ぐためにも、以下の①～③をメタバースにおける民主的価値の主な要素として国際的な共通認識とした上で、メタバースの将来像の醸成を図ることが重要である。
  - ① メタバースが自由で開かれた場として提供され、世界で広く享受されること
  - ② メタバース上でユーザが主体的に行動できること
  - ③ メタバース上での活動を通じて物理空間及び仮想空間内における個人の尊厳が尊重されること

### (原則の位置づけ)

- 上述の民主的価値を実現し、ユーザが安心・安全にメタバースを利用していくためには、仮想空間そのものの提供を担うメタバース関連サービス提供者(プラットフォーム(※ 1)及びワールド提供者(※ 2))の役割が重要である。メタバース関連サービス提供者の取組として、以下の2つを大きな柱として位置づける。
  - ① 社会と連携しながら更なるメタバースにおける自主・自律的な発展を目指すための原則
  - ② メタバース自体の信頼性向上のために必要な原則

※ 1 プラットフォームを提供する事業者をプラットフォームと呼ぶ。プラットフォームはメタバースを構築したり利用したりするための基盤。メタバースを構築するための機能や素材、法則やルールなどを提供するもの、ユーザの認証・管理やアイテム等の管理、コミュニケーション機能、契約・取引などの基盤的サービスを提供するもの、すぐに利用できるようにメタバースの基本的なサービス自体を運営・提供するものなど、多岐にわたる。

※ 2 ワールドとは、プラットフォーム上で構築・運用される、メタバースの個々の「世界」。ワールド提供者は、プラットフォームと契約(有償・無償を問わず、利用規約への同意等も含まれる)し、プラットフォーム上にワールドを構築して提供する者。なお、これをビジネスとして行う者については「ワールド提供事業者」という。プラットフォーム自身がワールドを構築して提供する場合もある。

### (メタバースの自主・自律的な発展に関する原則についての考え方)

- メタバースがメタバース関連サービス提供者による多様な仮想空間の提供と共に、ユーザ等によるクリエイティブなコンテンツ(UGCを含む)の創造により、自主的な創意工夫により自律的に社会的・文化的発展を遂げてきた経緯を踏まえ、ワールドのオープン性やイノベーションの促進、世界中の様々な属性のユーザがメタバースを利用する多様性・包摂性、ICTリテラシーの向上やコミュニティ運営の尊重など社会と連携した取組とする。

### (メタバースの信頼性向上に関する原則についての考え方)

- メタバースの自主・自律的な発展を支えるために、透明性・説明性、アカウントビリティ、プライバシーへの配慮、セキュリティ確保などメタバースへの信頼性を向上させるために必要な取組とする。

## &lt;メタバースの自主・自律的な発展に関する原則&gt;

項目	内容
オープン性・イノベーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自由で開かれた場としてのメタバースの尊重</li> <li>・自由な事業展開によるイノベーション促進、多種多様なユースケースの創出</li> <li>・アバター、コンテンツ等についての相互運用性の確保</li> <li>・知的財産権の保護(アバターの肖像の適正な保護を含む)</li> </ul>
多様性・包摂性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物理空間の制約にとらわれない自己実現・自己表現の場の提供</li> <li>・様々な国・地域、ユーザ属性等による文化的多様性の尊重</li> <li>・多様な発言等の確保(フィルターバブル、エコーチェンバーといった問題が起きにくいメタバース)</li> <li>・障がい者等の社会参画への有効な手段としての活用</li> <li>・メタバースへの公平な参加機会の提供</li> <li>・誰もが使えるユーザビリティの確保</li> </ul>
リテラシー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ユーザのメタバースに対する理解度向上の支援</li> <li>・ユーザのICTリテラシー向上の支援</li> </ul>
コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ運営の自主性の尊重</li> <li>・コミュニティ発展の支援</li> </ul>

## &lt;メタバースの信頼性向上に関する原則&gt;

項目	内容
透明性・説明性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス利用時の保存データ(期間、内容等)及びメタバース関連サービス提供者が利用するデータの明示並びにユーザへの情報提供</li> <li>・提供されているメタバースの特性の説明</li> <li>・メタバースの利用に際してユーザへの攻撃的行為や不正行為への対応の説明</li> </ul>
アカウントビリティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前のユーザ間トラブル防止の仕組みづくりや事後の不利益を被ったユーザの救済のための取組</li> <li>・他のユーザやアバターに対する誹謗中傷及び名誉毀損の抑制</li> <li>・ユーザ等との対話を通じたフィードバックを踏まえた改善</li> <li>・子ども・未成年ユーザへの対応</li> </ul>
プライバシー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ユーザの行動履歴の適正な取り扱い</li> <li>・ユーザとアバターとの紐付けにおけるプライバシーの尊重</li> <li>・メタバースの利用に際してのデータ取得、メタバースの構築に際しての映り込み等への法令遵守等による対処</li> <li>・アバター(実在の人物を模したリアルアバターを含む)の取扱いへの配慮(知的財産権、名誉毀損及びパブリシティの観点を含む)</li> </ul>
セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メタバースのシステムのセキュリティ確保(外部からの不正アクセスへの対処等)</li> <li>・メタバース利用時のなりすまし等の防止</li> </ul>